

# 1 大学院教育支援機構プログラム

支援金額

研究奨励費 一年度あたり

220万円

生活費相当額 月額15万円 + 研究費年額40万円

国立研究開発法人科学技術振興機構が実施する次世代研究者挑戦的研究プログラムの採択を受け、京都大学大学院教育支援機構プログラムの一環として、研究科や研究室など既存の枠組みを越えて優秀な博士後期課程等学生を選抜し、研究奨励費を支給します。**修士課程2年次の早期に、博士後期課程進学後の支援を保証する予約枠として「進学前枠用枠」も設けています。**

(日本学術振興会の特別研究員に申請いただくことが前提です。)

採用枠 全学年515名

支援期間 3年間 (医学・薬学の4年制博士課程の場合は4年間)

対象の研究科・専攻 全ての研究科・専攻

対象分野

人文・社会／情報・AI／量子／マテリアル／健康・医療・生命／環境・エネルギー・複合 所属する研究科や専攻に関わらず、すべての分野に出願できます。

※募集要項は大学院教育支援機構のウェブサイトに公開します。受給資格等の詳細は、募集要項を必ずご確認ください。

## 博士後期課程向けの 経済支援事業

### 事業の趣旨

優秀で意欲ある学生の皆さんが、経済的な不安から博士後期課程への進学をためらうことのないよう、大学院教育支援機構では2つの博士後期課程向けの経済支援事業を提供しています。

# 2 科学技術イノベーション創出フェロースhip

支援金額

研究奨励費 一年度あたり

210万円

生活費相当額 月額約15万円<sup>\*</sup> + 研究費年額30万円

※年額180万円…月により若干変動する可能性あり。また研究奨励費の一部に、RAあるいはRFとして雇用されて支給される給与が含まれることがある

国立研究開発法人科学技術振興機構が実施する「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェロースhip創設事業」は、将来の我が国の科学技術・イノベーション創出を担う博士後期課程学生に対し、研究に専念できる環境を提供するために、当該博士後期課程学生の処遇の向上、及び博士後期課程修了後の安定的なキャリアパスの確保を目的とした事業です。

採用枠 1学年97名 (3学年291名)

支援期間 3年間 (医学・薬学の4年制博士課程の場合は2年次から4年次までの3年間)

対象の研究科・専攻 理学研究科、医学研究科、薬学研究科、工学研究科、農学研究科、エネルギー科学研究科、情報学研究科、総合生存学館のうちフェロースhipに参加する専攻 (詳細は募集要項を参照して下さい)

対象分野

情報・AI／量子／マテリアル／健康・医療・環境

※募集要項は大学院教育支援機構のウェブサイトに公開します。受給資格等の詳細は、募集要項を必ずご確認ください。

キャリア形成  
支援の実施

博士学生のキャリアパスの多様化に対応し、皆さんが不安なく進路選択ができるよう支援することを目的として「産学協同教育コース」や「教育能力向上コース」といったキャリア形成支援コンテンツを提供します。

